

常任理事会だより

山川智之

本稿では、前号で報告後、平成23年3月11日、4月22日、5月15日、6月24日に開催された計4回の常任理事会の内容のうち主なものをお伝えするとともに、日本透析医会の主な活動についてご報告します。

1. 東日本大震災の対応について

3月11日に発生した東日本大震災に対する日本透析医会の対応については本号掲載の別稿に詳しく述べましたが、本文にも書いたように、この日は常任理事会の他、日本透析医学会との診療報酬関連および「透析医療のグランドデザイン」作成のための会議が予定されていました。また常任理事会に先立ち、日本臨床工学技士会、日本腎不全看護学会、全国腎臓病協議会、日本透析医会の四者による合同会議を14時から開催しており、震災はこの会議の最中に起こりました。この日から約半月間、医会事務局には常任理事が誰か1人待機する対応をとり、各種取材への対応も行いました。

本稿を執筆している7月上旬現在も、透析ができない施設は宮城、福島県下に数施設あると聞いており、まだ震災対応は終わったわけではありませんが、今後はこの大震災の対応について多角的に検討を行い、皆様方のご指導を仰ぎながら後世にこの経験を伝える作業を行いたいと考えています。今後ともよろしくお願いします。

2. 通常総会の開催と今後の日本透析医会総会について

5月15日、日本透析医会通常総会が開催されました。その内容と主な決定事項は本号に掲載のとおりです。例年の議案の承認に加え、公益法人認定作業の経過報告、東日本大震災の対応についての報告などをさせていただきました。来年以降は、後述のとおり研修セミナーと同時開催で、来年度は2012年5月20日（日）に東京で開催します。たくさんの会員のご参加をよろしくご願ひ申し上げます。

3. 公益社団法人移行認定

2008年に施行された公益法人制度改革を受け、現在、日本透析医会は公益社団法人認定を目指し準備中でしたが、6月30日に申請を行いました。日本透析医会の行う公益事業としては申請上、

①医療経済の調査，医会雑誌発行，マニュアル作成などの調査・研究，普及，教育研修事業，②公募助成などの研究助成事業，③災害対策などの安全対策事業の三つとしております。

4. 第14回透析保険審査委員懇談会について

日本透析医学会学術集会の期間中の6月17日に，横浜におきまして全国の透析関連の保険審査委員，支部長の先生などにご出席いただき，第16回透析保険審査委員懇談会が開催され，長時間にわたり活発な議論が行われました。例年お忙しいところご出席いただいた先生方には御礼申し上げます。詳細につきましては12月発刊予定の日本透析医会雑誌26巻第3号でご報告の予定です。

5. 災害情報ネットワーク会議についてなど

日本透析医学会学術集会開催期間中の6月19日に，横浜におきまして第12回災害時情報ネットワーク会議を開催しました。ご多忙中参加していただきました先生方には厚く御礼申し上げます。会議の内容については，12月発刊予定の日本透析医会雑誌26巻第3号でご報告させていただきます。なお，今回の災害対応も踏まえ，災害情報ネットワークの運営の見直しを現在行っております。決定事項についてはまた別途ご報告させていただきます。

6. 日本透析医会研修セミナーおよびシンポジウムについて

今秋の日本透析医会シンポジウムは初めて地方開催となります。「透析医療における **Current Topics 2011**（福岡開催）：日常透析に横たわる困難性への挑戦」として，福岡県透析医会の協力の下，2011年10月23日（日），アクロス福岡で開催の予定です。詳細につきましてはホームページ上でお知らせしています。また，次年度の研修セミナーは2012年5月20日（日）に東京で日本透析医会総会と同時開催の予定です。たくさんのご参加をお待ちしております。